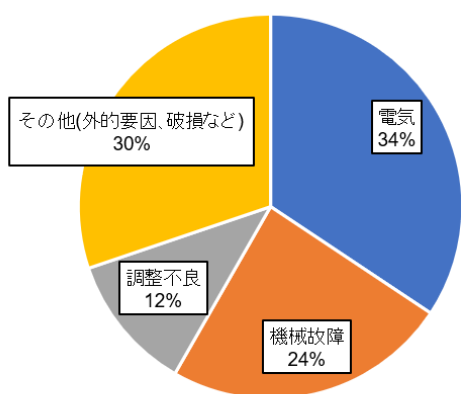


電気部品の計画交換で実現する予防保全の最適化

安全運航を継続するためには、故障発生後に対応する「事後保全」から、トラブルを未然に防ぐ「予防保全」への転換が重要です。特に電気部品は、寿命や劣化の進行が外観から判断しにくく、突発的な故障が発生した場合には、機器の稼働停止など大きな支障を及ぼすリスクがあります。

■ ボイラトラブルの原因の種類と割合（当社納入ボイラの事例に基づく）



トラブル原因系統の中で電気系トラブルは34%と最も高く、機械故障(24%)を10ポイント上回り、全体の約3分の1を占めています。件数が突出しているだけでなく、他系統トラブルの起点となりやすいことから、全体のトラブル低減を図る上で、特に重点的に対策すべき領域と言えます。

■ 電気系トラブルによる影響

観点	電気系トラブルによる影響
運航	機器が停止し、荷役や運航に影響がある。安全確認に時間を要する。
コスト	想定外の対応で割高になりやすい。スケジュール遅延による影響が大きい。
労力	原因の特定が難しく時間を要する。負担が集中しやすい。
修復	現場修復が困難な場合が多い。部品交換が必要となる。

■ 定期交換(予防保全)のメリット

メリット

突発停止の削減

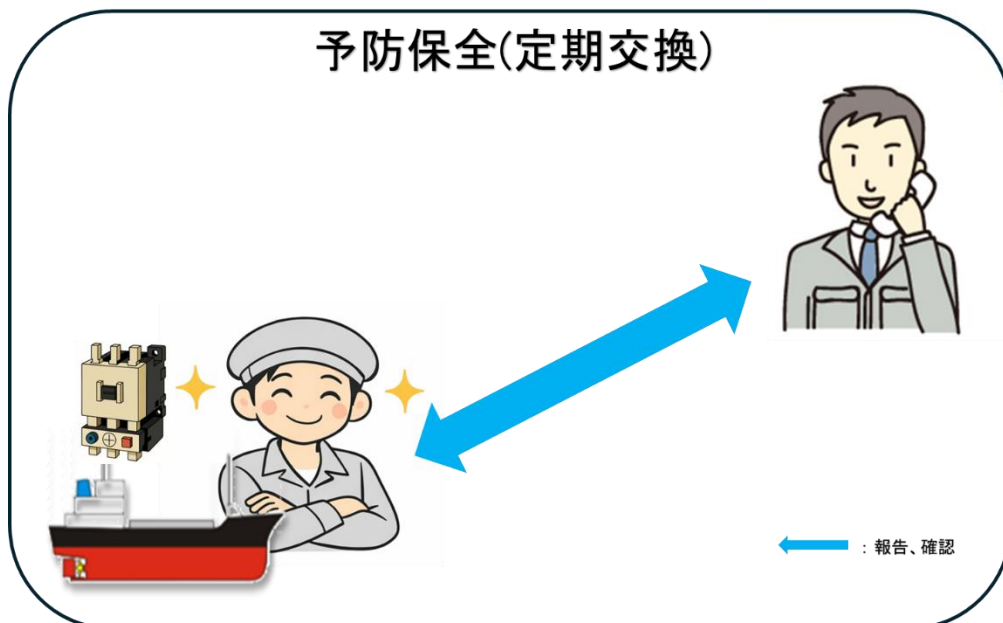
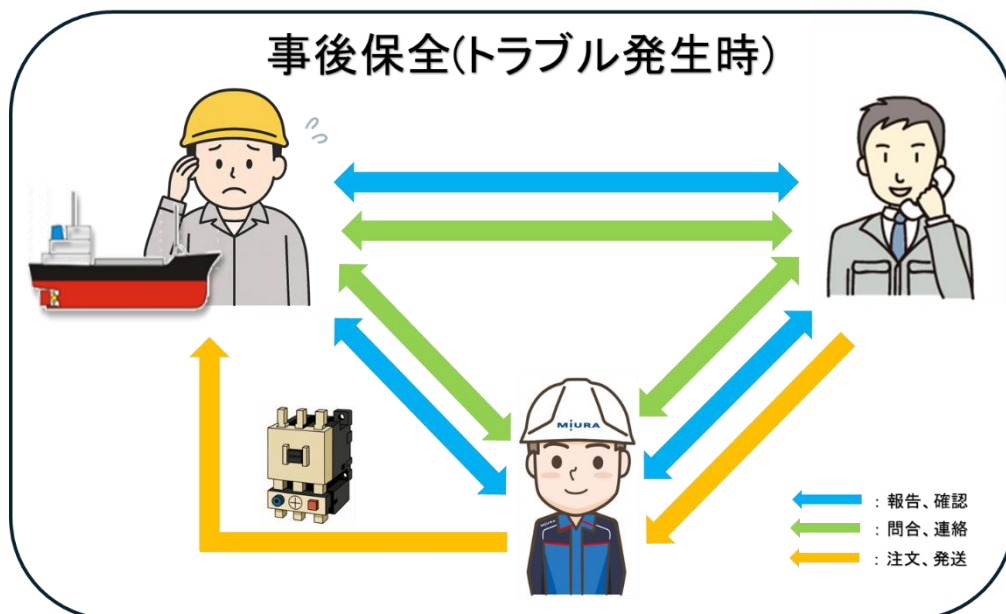
安定稼働の確保

事後保全に比べ修理コストを40～60%削減

機器の復旧時間の最小化

安全性の向上

■ 機器復旧までの比較



こうしたリスクを低減し、計画的かつ安定した機器運用を実現するためには、耐用年数や使用環境を踏まえ、あらかじめ交換時期(7.5～10 年毎)を設定することが重要です。その上で、電気部品を定期的に交換する予防保全を行うことが有効です。

弊社サービスネットワークは下記 URL もしくは QR コードよりご覧いただけます。

<https://www.miuraz.co.jp/product/marine/maintenance/service.html>

ご不明な点がございましたら最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

E メールアドレス (アフターサービス): hakuyo_mka@miuraz.co.jp

